

平成 27 年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業  
(発達障害早期支援研究事業)  
成果報告書 (概要版)

実施機関名 ( 白子町教育委員会 )

1. テーマ

発達障害の可能性のある児童生徒の充実した学習と学校生活を実現するための手立ての工夫

2. 問題意識・提案背景

これまでの教育事務所の支援や関係諸機関との連携, 並びに各学校の努力により、町内の通常学級における発達障害の可能性のある児童生徒への支援は、近隣他町村に比べてかなり進んできている。しかし、年々増加傾向にある発達障害の可能性のある児童生徒への支援体制の構築や、個々の該当児童生徒の変容への対応は、かなりの負担・努力を要する。これらの大切な課題への第一の対応者は、当然のことながら特別支援教育コーディネーターでなければならない。しかし、本町における特別支援教育コーディネーターの職務の実態は、学校現場の現実的な忙しさに忙殺され、本来の職務を全うできずにいる。

そこで本年度は、各学校の特別支援教育コーディネーターの本来的な活躍を促す組織の構築を目指したい。また、支援の大切な足跡であり指導指針でもある個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成も進めたい。かなり地味な取り組みとなるが、本町の特別支援教育の将来を見据え、より強固な地に足のついた基盤を構築したいと考える。

3. 指定校について

(小学校)

指定校名： 白瀧小学校												
学級数及び児童生徒数 通常7・特支1・児童数177												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	28	1	23	1	34	1	31	1	39	2	21	1
特別支援学級	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通級による指導の対象者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員数												
校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教員	特別支援教員	その他	計		
1	1	9	1	1	1	1	1	0	2	18		



#### 4. 指定校における取り組み概要

- (1) 特別支援教育コーディネーター中心の組織の構築
  - ① 1校2人以上の特別支援教育コーディネーターの配置
  - ② 週2時間以上の活動時間（教室訪問・保育所訪問の時間、打合せ時間）の確保
  - ③ 週1時間、特別支援教育コーディネーターと支援員と指導員の打合せ時間の設定
  - ④ 月に1回、町内4校の特別支援教育コーディネーター会議を開設。年3回、町内支援員会議を開設
  - ⑤ 4校持ち回りで、特別支援教育広報紙「はじめの一步」発行（月1回）
  - ⑥ 保育所とのなめらかな連携の推進
- (2) 白子町独自の通常学級用の個別の教育支援計画・個別の指導計画（ひまわりステップ）の作成と実施
  - ① 通常学級の担任が、取り組み易い形式の個別の教育支援・指導計画の作成と実施
  - ② 保育所から中学校まで、一貫して持ち上げられる個別の教育支援・指導計画の作成と実施（なめらかな保育所・小学校・中学校の連携）
- (3) ユニバーサルデザインの視点に立った授業実践の推進
  - ① 町内4校での授業実践（焦点化・視覚化・共有化）
  - ② 白潟小学校の公開研究会の開催 平成27年11月26日（木）に実施
  - ③ タブレット等を活用した合理的配慮の推進
- (4) 特別支援教育に対する保護者や町民の意識改革の推進
  - ① 保護者・町民・教職員が参加しての講演会の開催
  - ② 保護者対象の教育相談の実施

#### 5. 主な成果

- (1) 『特別支援教育推進のトライアングル』と名付けて、特別支援教育コーディネーターと特別支援教育支援員と特別支援教育指導員3者の連携システムが町内4校で機能し（3者が授業時間の中で、共通の時間枠を設けての話し合い時間の確保ができた。）、発達障害の可能性のある児童生徒への早期で適切な支援ができるようになった。
- (2) 通常学級の担任が、取り組み易い形の個別の教育支援・個別の指導計画（ひまわりステップ）ができ、通常学級の担任が取り組むようになり、資料の蓄積が始まった。
- (3) ユニバーサルデザインの視点に立った授業改善の意識が、教諭・教科担任に定着した。
- (4) 『スクラム白子』として、幼児・児童・生徒を適切に支援するための関係機関との連携体制が構築できた。
- (5) 教職員・保護者・地域住民の特別支援教育への理解や意識が高まった。

#### 6. 今後の課題と対応

- (1) 幼児・児童・生徒への合理的配慮（個別の支援）等、教職員の特別支援教育の一層の理解と学級経営力の向上
- (2) 新たな『特別支援教育推進のトライアングル』、特別支援教育コーディネーターAと特別支援教育コーディネーターBと特別支援教育支援員3者が中心となつての特別支援教育の一層の推進

- |   |
|---|
| (3) 校内特別支援委員会と生徒指導委員会の適切な融合<br>(4) 特別支援教育に対する地域住民の理解と地域教育の一層の充実 |
|---|

## 7. 問い合わせ先

組織名： 千葉県長生郡白子町

- |             |  |
|-------------|--|
| (1) 担当部署    | 白子町教育委員会教育課  |
| (2) 所在地     | 千葉県長生郡白子町関 5038-1  |
| (3) 電話番号    | 0475-33-2144   |
| (4) FAX 番号  | 0475-33-7461   |
| (5) メールアドレス | <a href="mailto:kyouiku@town.shirako.lg.jp">kyouiku@town.shirako.lg.jp</a> |